

Luncheon Linguistics, 4/6/2025

2025（令和7）年6月4日

「学会報告 第40回 Finno-Ugric Students' Conference (IFUSCO XL)」

発表者：長谷川朝香（東京外国語大学博士前期課程）

本発表では第40回 International Fino-Ugric Students' Conference (以下、IFUSCO XL) への参加報告として、開催概要およびワークショップでの発表を共有した。

IFUSCO XL はウラルの言語や民族に関係する諸分野を対象とした学生向けの学会であり、今年度はウィーン大学にて2024年4月22日～36日の5日間開催された。

報告ではIFUSCOの概要および発表題目の傾向について紹介したのち、Jeremy Bradley氏によるワークショップ *"If you say why": studying Mari and Udmurt syntax using new and old tools* の発表紹介を行った。

当該発表はマリ語やウドムルト語における原因・理由を表す構文の変遷、特に *maly ke šuono / molan manaš gyn* “if you say why” の構文の成立について、対訳資料やコーパスを用いて考察をしたものである。